

名古屋徳洲会総合病院 内科後期研修プログラム

プログラムの特徴／沿革など

医師として楽しく一生食べていくにはどのような生き方学び方をすればいいかを伝える
そのための具体的な方法を学びその基礎的な力をつける
基礎医学的知識に立脚した「わからない時にどうするか」という問題処理能力を獲得する

到達目標やアウトカム

何科に進むにしても持っていったほうが良いと考えられる、内科的な広範なものを見方考え方を身に付けること
内科認定医レベルの知識と実力を獲得し、希望する部門に進む手助けをします
また総合内科専門医をはじめ内科各分野へのキャリア形成のスタートと位置付けています

年次到達目標／年間研修スケジュール

—

休暇／学会出張などの条件

休暇は義務です
しっかり休んでしっかり働き学んで下さい
年に最低一回は学会発表をしていただきます

週間スケジュール

各人の都合に合わせます
勤務時間内は存分に働いて勉強、研修をしていただきます
原則として電話を含め勤務時間以外で呼ばれることのないようにします
そのためにもカルテ記載その他を十二分に工夫していただきます

募集人員

特に制限ありません

研修期間

各人の希望に合わせます

学会施設認定・取得可能な資格など

各人の希望に合わせて、徳洲会の組織の力を活かしてできる限りの工夫と協力をします

診療実績・データ

誤嚥性肺炎などのcommon diseaseに加えて、血液疾患、神経疾患、自己免疫疾患、内分泌疾患、その他のあらゆる疾患に切り込んでいます
ありふれた病態の中から、広がりを持ち勉強を深める隠された病態を見つけていきます
病理標本や血液標本などをできるだけ研修医自ら診て、病理医とのディスカッションに参加していくように働きかけています

現在の指導体制

垣根が低く、温かくて指導熱心な名古屋徳洲会の各専門科の専門医の方々の、全面的な応援指導体制がとられています

研修修了者実績

—

指導医からのメッセージ

楽しく医者として働き勉強を続けていくためには、まず目の前の問題を処理できなければなりません
どんな患者が来ても、その場その場で自分なりに最善の処理ができるようになっていただきたいと思います
そのためにはUSMLE Step 1に含まれるような基礎医学の知識が大変有用です

実際にそれをどのように活用していくのかを見ていただきたいと思います

またいろいろな困難が付きまとう对患者対家族問題を、どうすれば正しく処理し、トラブルを最小化できるのか、についてもしっかり学んでいただきます

心構えや精神論やテクニックではない、本質的な解決法を身に付けていただきます

後期研修医からのメッセージ

総合内科(総合診療、プライマリケア)の現代の主流はEBMです。私も初期研修ではEBM重視の内科教育を受けました。EBMはマップ機能付きのスマホのような物で、持っていれば誰でもすぐ旅に出られる手軽さがあります。しかしマップが古くならないよう常にアップデートし続けなければいけない不安感や、充電が切れた時やマップが網羅していない海原を漂流する時には役に立たないという限界があります。初期研修でそうした違和感に悩んでいた時に出会ったのが、基礎医学をベースにした当科の教育方針です。

例えばある日の診療で、検査値異常…LDH高値だったとします。普通ならLDHが上昇する疾患のリストや、検査の感度・特異度の指導が始まると思いますが、当院ではまず「LDHは身体のどこで何をしているのか？」を教わります。一見すると遠回りな指導に思われるかもしれませんが、大海原を漂流している時に星座や海流を読めると手がかりになるのと同じように、本当に「一体この患者さんの体内で何が起きているんだ!？」と行き詰った時にこそ、こうした基礎医学が思わぬ突破口となるのです。流行りの医療は、言ってみれば大きな教育病院に行けばいつでも学べます。けれど時代に左右されない、本物の冒険者を育てる教育に出会う機会は、極めてレアだと思います。また研修内容もフレキシブルなので、「あれも学びたい」「当直は体力的にあまり出来ない」という各人の希望を最大限考慮してもらえます。私も総合内科を拠点にしつつ、週1回は内視鏡の日を設けて消化器内科研修を続けています。ぜひ一度、名古屋に足を運んで雰囲気感触を味わって下さい。

修了者の進路

—

その他

—

指導責任者



松浦 博志(まつら・ひろし)
内科顧問
昭和51年 京都大学卒

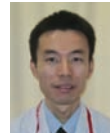
指導医



野々山 志(ののやま・たかし)
医長
昭和59年 山形大学卒



富田 良照(とみだ・りょうしょう)
昭和47年 岐阜大学卒



瓜野 裕一(うりの・ゆういち)
平成19年 藤田保健衛生大学卒

問い合わせ窓口：〒487-0016 愛知県春日井市高蔵寺町北2-52 TEL: 0568-51-8711 FAX: 0568-51-7115
担当者：総務課 加藤 Mail: kenshu@nagoya.tokushukai.or.jp